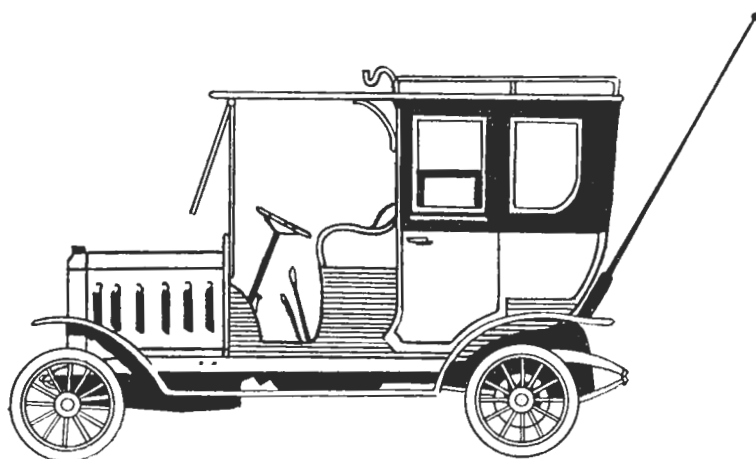


(C)QTC-Japan.com & Tokyo OLD

JMHC

会
報

N
O
·
5



JAPAN MOBILE HAM CLUB

目 次

- 巻 頭 言 JA1DWI 山田豊雄 3
- J M H C NEWS 4
- 2メーター用ターンスタイル型アンテナ
 (訳) JA1DWI 17
- 紀行文 7月納涼ドライブ
 JA1AOR 高野 茂 22
- 新入会員紹介 24

巻 頭 言

J A 1 D W I 山 田 豊 雄

9月と云えば秋の入口、日中は残暑がきびしいが夕べには涼風が立つと云うのが例年であるが今年は又狂つた天候続きである。さて、51M Cの空の方は益々、楽しげな語らいの電波が輻輳して来た様である。しかし、どうもモバイル局優先のルールが無視され、固定局同志の長いラグチューにチャンネルが占有される危具を多分にはらんで来た様である。会員諸君にはモバイル局優先の鉄則を51M C F₃の利用者に滲透させて頂きたいと思う。社会通念からも弱きをたすけ、強きを挫くのが当然ではないだろうか。現代の企業に於てコンビナートの形成が理想像である様に、モバイルハムも相互の信頼のもとに1つのルールを通して強力な団体行動の基盤を築く事が理想ではないだろうか。

さて、話は変つて、弁解がましくなるが、私自身この所セカンドハーモの誕生以来5月の節句に掲げた雌の鯉轍の尾でアンテナを折られてしまいこの所、全くオン・ザエアできないのであるが、いつの世になつても女性と神様の崇りは恐れ様である。恐いと云えば、以前、真空管式ポータブルラジオの代表的メーカーだつた経営者が『おれはトランジスターを見ると怖いよ』と云つていたが技術革新の速度が一段と早くなつた現在我々アマチュアも充分に新分野の開拓に意慾を燃やしたい。

そろそろ肌に初秋のつめたさを感じずる頃ともなればモバイルハム待望の遠乗のシーズンとなるわけで会員諸君の御活躍を期待して筆を擱くことにする。

1963・8・24

JMHC NEWS

10月定例ミーティング

10月27日午後8時より於JA1KGC宅。

出席者 JA1GNQ, JLG, EXN, FFY, AOU, BKG, EE
E, JTB, ID, HQF, KGC, EQI, HX, KYS, FMQ, K
FT, ACP, AT, AEW, AOR, FUO, 3RF。

1. 12月ミーティングを忘年会とし日時、場所の決定についてはIKGC局に一任した。
2. コンテストを出来れば来年2月頃無線と実験後援で行いたい。
3. JA1BKG局より11月遠乗会について説明が行なわれ、11月3日、立川 — 奥多摩湖 — 柳沢峠 — 笹子トンネル — 新宿のコースで立川温泉前7時30分集合、8時出発と決定した。
4. 遠乗会を運営する費用を会費とは別に積立てはどうかとの意見が出て討議され会費100円と遠乗会運営費50円計150円の案が出来た。

第3回 役員会

10月25日(木)午後8時~10時 於、JA1KGC北田氏宅。

出席者 JA1ID, BKG, BRM, BZF, EQI, FFY, GNQ,
KGC, ATおよび委任状3名。

1. 役員増員の件

現役員にJA1KGC, ATの2名を加える件に関し、全員賛成により承認した。

2. サブチャンネル設定の件

過日東京湾で行われたモーターボートレースに、JMHCが通信連絡

(C)QTC-Japan.com & Tokyo OLD

確保のため参加した際、現在の51M@1チャンネルでは通信がスムーズに行えないので、JMHCとしてのサブチャンネルを早急に設定したらどうか。その件に関し討議を行つた。51、2Mcおよび54M@附近との二案が出されたが決論が出ず、10月ミーティングに於てなお討議を行うこととした。

3. 忘年会の件

忘年会開催に関し全員賛成開催することとした。

最低予算額は1千円とし12月初旬に行うこととし、その方法として、遠乗会をかねるか、忘年会のみ都内で行うかの二案が出されたが、10月ミーティングの際討議を行い決定することとした。

4. 新年初乗り会およびコンテスト開催の件

新年初乗り会とJMHeモバイルコンテストを同時に行うとの案が出されたが、コンテストは“無線と実験”で後援してもらえるので2月頃単独に行い、初乗り会は別に行うこととした。

5. JA1BK Gより毎月の会費の他に遠乗り会費として別に積み立ててこの積立金を遠乗り会の費用に充当してはどうかとの動議が出され、10月ミーティングの際討議を行うこととした。

11月 遠 乗 会

11月3日、立川地区担当で立川温泉前午前8時出発 — 奥多摩湖 — 柳沢峠 — 笹子トンネル — 相模湖 — 立川のコースで行われた。途中パーキングに依る昼食など楽しい遠乗会となつた。

出席者 JA1FFY, KGC, GNQ, EQI, BK G, DWI, JTB, BZF。

第4回 役員会

12月14日、午後8時より於JA1KGC宅。

出席者 JA1DWI, EQI, GNQ, BKG, KGC, AT。

委任状 HX, ID, BLN, GNA, YF。

議題 会則一部変更の件

1. 細則5項の次に6項を加える。

(6) 遠乗会運営費

2. 第11条の次に第12条を加える。

第12条(役員会)

臨時総会および37年忘年会

12月23日午後4時より目黒の東京都交通局厚生寮に於て行われた。

当日現在会員数46名中出席者23名、委任状12名で法定数以上で総会成立となり、議長に1EQIが選ばれ開会された。

会長1DWIあいさつ

議題 1. 会則一部変更の件

第11条の次に次の1条を入れ第12条より各条を1条ずつ下げる。

第12条(役員会)

本会は会の運営のため役員会を開くことができる。

2. 細則の5項の次に1項を入れる。

6. (遠乗会運営費)

本会は第1章第5条2項の運営を円滑に行うため会員より月額50円の納入を受け、遠乗会補助費に充当する。

(C)QTC-Japan.com & Tokyo OLD

議題1 に関し1 B K Gより役員会をもうける理由の質問があり1 E Q Iより答弁があつて全員改正に賛成、議題2 に関し1 E Q Iより説明があつて全員賛成。これにより臨時総会は閉会となり忘年会が行われた。

新年初乗会

1月15日、例年通り初乗会を箱根方面えドライブして行われた。

当日は風が強かつたが箱根町で昼食を共にしながらミーティングを行い、帰路一部の車は伊豆スカイライ廻りを行つた。

出席者 J A 1 E Q I, G N Q, D W I, Y F, F F Y, F M Q, B K G, E E E, J T B, B Z F, K G C, B L N, A B E。

1月定例ミーティング

1月26日午後8時より於J A 1 K G C宅。

出席者 J A 1 H M, G N Q, B K G, G N A, F F Y, E Q I, D W I, J L G, A C P, E X, E E E, B Z F, C W S, J T B, B S L, K G C, J L, A T, E N T, 6 E G。

38年度の遠乗会は事前に日取りを決定してほしい由A Tより発言があり全員賛成、日取り決定を行つた。

5月、25日26日 東海道方面

9月、22日

10月、26日27日 万座方面

11月、12月、3月は秋に決定する。

遠乗会積立金を一泊旅行などのときに利用するため行つてはとの発言があつたがなお検討する事とした。

(C)QTC-Japan.com & Tokyo OLD

2月定例ミーティング

2月23日午後8時よりJA1KGC宅に於て行われた。

3月定例ミーティング

3月30日午後8時より於1KGC宅。

出席者 JA1JL, BB, HQF, KGC, BSL, CWS, AOR, BZF, ACP, AEW, JTB, ECL, KYS, BKG, EEE, HM, FFY, GNA, GNQ, DWI, HX, BLN, EQI, AT。

1BLN局より3月遠乗会を4月14日大室山高原行とて開催する由の説明があつた。コースは横浜バイパス8時集合 — 熱海 — 大室山高原 — 伊豆スカイライン — 箱根 — 横浜。

10月遠乗会は10月26～27日、戸田橋 — 軽井沢 — 三原 — 万座吾妻溪谷 — 渋川 — 戸田橋のコースと決定。

JMH C大阪支部(仮称)設置の件に関し、会長1DWI、EQI局より渡阪された様子などの説明があり近く正式決定、発足するとのことであつた。

HX局より施設の孤児を招待する遠乗会をしてはとの発言があり今後この問題を考えることとした。

4月 遠 乗 会

4月14日(日)午前8時立川温泉前集合のもとに横浜地区担当で遠乗会が行われた。コースは立川 — 相模湖 — 大月 — 山中湖 — 御殿場 — 国府津 — 横浜。

出席者 JA1BLN, ABE, HQG, ECL, JL, GNQ, GNA,

(C)QTC-Japan.com & Tokyo OLD

FFY, JTB, BZF, BKG, EEE, DCO, AOU, ENT, EQ I, BRM。

4月定例ミーティング

4月27日午後7時30分より於1EQ I宅。

出席者 JA1GNQ, BSL, HX, FFY, DBZ, DCO, CME, BKG, BZF, EEE, JTB, FMQ, YF, BLN, ABE, EQ I, ACP, AOR, AT。

総会を開催する件について討議をした結果、5月19日(日)八王子鳥店に於いて行うことに決定、JA1BLN局より4月14日に行われた遠乗会について報告があつた。

JA1YF局がかねて渡米されていたが帰京されたので米国での話があつた。

第5回 役員会

5月11日午後7時より於山田油機。

出席者 JA1DWI, AT, HX, YF, DCO, EQ I, FMQ, GNQ, JLG, JTB。

1. 37年度決算報告書作成について

EQ Iより説明

2. 総会議題の件

3. 新方法によるコンテストについて

YFより説明

(C)QTC-Japan.com & Tokyo OLD

昭和37年度定時総会

5月19日、於野猿峠、鳥山西店。

出席者 JA1DWI, YF, AT, BB, DV, ID, AOR, BKG, BLN, BSL, BZF, DCO, ECO, EEE, EQI, EYG, FFY, FMQ, GNQ, JLG, JTB, KYS。

委任状 14局。

総会に提出された議案は次の通りであります。

○第1号議案 37年度事業計画及び決算案並びに38年度事業計画及び予算案承認に関する件。

本会は創立当時数人であつた会員も現在では56人にも到し、去る3月にはJMHC関西の設立準備も終了し、益々躍進の一途をたどつております。動くアマチュア局の面白さは比較的高度な技術を要求されるにもかかわらず、アマチュア的開拓精神と会員相互の親睦の上からも今後増加の傾向にあります。本年度は月例ミーティング或は遠乗会に和気相々の中に全会員の親睦と技術向上の集りとして御利用預けたと存じます。しかし、運営に当る役員各位もビジネス第一であり、会員の皆様に充分に奉仕できなかつた事をおわびする次第です。

決算面では下表の様になつております。

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
会費(56人)	42,500	会則(100部)	2,400
入会金(11名)	11,000	会報第3号(70部)	6,720
36年度繰越金	1,130	第4号(70部)	7,280
寄附金	32,400	コンテスト用カーパッチ 製作費(100個)	4,000
未納会費	11,500	初乗会費	6,930
		速乗会費	5,500
		交通費	1,895
		ミーティング会場費	3,650
		通信連絡費	2,720
		コンテストカード代金	9,000
		38年度繰越金	48,435
合計	98,530	合計	98,530

次に38年度事業計画であります。さらに地区別組織を基盤とした将来性ある有望な協力組織として発展させたいと考えております。詳細については別紙計画書を参照願います。

38年度予算については下表の様な予算案を作成致しました。

○ 第二号議案 会則一部変更に関する件

本会の運営をより円滑に、充実したものとするため副会長を2名に増員し、併せて、議決権代理行使等につき不備な点もありますので、一部字句の改正も含めて別紙の通り改正したいのであります。

○ 第三号議案 役員改選の件

全役員会則の定める所によつて任期満了となりますので新たに役員を選

(C)QTC-Japan.com & Tokyo OLD

出たいたいのであります。

38年度役員

名誉会長 J A 1 Y F
会 長 J A 1 D W I
副 会 長 J A 1 A T, J A 1 B K G
幹 事 J A 1 K G C
理 事 J A 1 H X, J A 1 J L, J A 1 A E W
J A 1 A O R, J A 1 B L N, J A 1 E C L
J A 1 E Q I, J A 1 F F Y, J A 1 G N A
J A 1 G N Q, J A 1 J T B, J A 3 R F

事 務 局

事務局長 J A 1 E Q I, J A 3 R F
書 記 J A 1 D C O
企 画 J A 1 B L N, J A 1 J L G
渉 外 J A 1 E C L, J A 3 R F
技術担当 J A 1 F F Y, J A 1 G N A, J A 1 J T B
非常通信, コンテスト担当 J A 1 D C O
編 集 J A 1 A T, J A 1 D C O
会 計 J A 1 C N Q
監 査 J A 1 J L

(C)QTC-Japan.com & Tokyo OLD

昭和38年度予算案

収 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
会 費(56人)	67,200	会 報 発 行 費	48,000
入会金(10人)	10,000	遠 乗 会 運 営 費	33,600
寄 附 金	40,000	行 事 運 営 費	20,000
37年度繰越金	48,435	P R 費	20,000
遠乗会費(56人)	33,600	通 信 連 絡 費	3,000
		賞 品 費	15,000
		ミーティング会場費	6,000
		設 備 費	30,000
		予 備 費	23,635
合 計	199,235	合 計	199,235

昭和37年度事業報告

- 3.7. 4.15 第1回総会 (於 横浜港・氷川丸)
- 4.19 役員会 (於 山田油機・馬込ビル)
- 5.26 5月定例ミーティング (於 JA1KGC宅)
- 5.26 日本モービルハムクラブ会報 第3号 発行
6. 3 6月遠乗会 (城東地区担当・真鶴半島方面)
6. 9 役員会 (於 山田油機・馬込ビル)
- 6.30 6月定例ミーティング (於 JA1KGC宅)
- 7.28 7月定例ミーティング (於 JA1KGC宅)
- 8.25 8月定例ミーティング (於 JA1KGC宅)
9. 9 9月遠乗会 (城東地区担当・正丸峠, 長瀬方面)
- 9.20 日本モービルハムクラブ会報 第4号 発行

(C)QTC-Japan.com & Tokyo OLD

- 9.29 9月定例ミーティング (於 JA1KGC宅)
- 10.25 役員会 (於 JA1KGC宅)
- 10.27 10月定例ミーティング (於 JA1KGC宅)
- 11.3 11月遠乗会 (立川地区担当・奥多摩湖,
柳沢峠方面)
- 12.5 無線と実験「モービル・移動無線の技術」監修
(誠文堂新光社 発行)
- 12.23 臨時総会および忘年会 (於 目黒・東京都交通局厚生寮)
38. 1.15 新年初遠乗会 (事務局担当・箱根方面)
- 1.26 1月定例ミーティング (於 JA1KGC宅)
- 2.23 2月定例ミーティング (於 JA1KGC宅)
- 3.30 3月定例ミーティング (於 JA1KGC宅)

38年度事業計画

1. 会員名簿について
2. 道路地図について
3. 会旗について
4. 名札について(ミーティング・遠乗等に行つた時、胸に付ける)
5. カーバッヂについて(ステッカーをやめる)
6. その他

以上全て原案通り可決された。

総会閉会后ビールと野猿峠名物の野鳥の焼鳥に舌づつみをうちながらミーティングを行なつた。

5月定例ミーティング

5月25日午後8時より於JA1KGC宅。

出席者 JA1AT, HM, AOU, BKG, BSL, BZF, DCO,

(C)QTC-Japan.com & Tokyo OLD

ECL, EEE, EQ I, GNQ, HQF, JLG, KGC。

1. 6月の遠乗会実施について
2. 名簿作成の件

第6回 役員会

6月18日午後7時より於山田油機。

出席者 JA1DWI, AT, HX, BLN, DCO, ECL, EQ I,
GNQ, KGC。

1. 10月遠乗会 万座スカイライン行実施決定について
2. JMCとタイヤツブについて

JMCより協力方の依頼があつたとの報告あり交渉を会長に一任した。

6月定例ミーティング

6月29日午後8時より於JA1KGC宅。

出席者 JA1AT, HM, HX, JL, AOR, BKG, BLN, BZ
F, ECL, EEE, FUO, GNQ, KGC, CQ。

7月遠乗会、那須高原行の案を取り上げた。

第7回 役員会

7月8日午後7時より於JA1EQ I宅。

出席者 JA1YF, FMQ, AT, HX, JL, AEW, AOR, BK
G, DCO, ECL, EQ I, GNA, ENQ, JLG。

1. 遠乗会企画運営をスムーズに行われるよう討議され、企画の実施方法を改善する事とした。
2. 移動局対、固定局問題が討議され、固定局同志のラグチューはつつし

(C)QTC-Japan.com & Tokyo OLD

むよう周知する事とした。

7月納涼遠乗会

7月13～14日、那須高原方面。

出席者 JA1AT, GW, AEW, AOR, BKG, BLN, BZF,
CGS, DCO, ECL, EEE, ENT, EQI, ESV, GNQ,
HEB, JLG, KZX。

他非会員14名、参加車12台。

夜の涼しいドライブと高原のすがすがしい気分を満喫した楽しい遠乗会で
あつた。

第8回役員会

7月23日午後7時より於山田油機。

出席者 JA1DWI, AT, HX, JL, AOR, BKG, DCO,
EQI, GNQ, JLG。

1. 7月定例ミーティングは中止する事とした。
2. 8月に海上(船上)納涼ミーティングを行う事とした。
3. 9月遠乗会を奥多摩方面えバーベキュードライブとする事とした。
4. CQ、または無線と実験誌上にJMHCのPRページを作る事とした。

8月納涼ミーティング

8月10日、東京湾一周東海汽船々上にて。

出席者 JA1AT, HX, AOR, GW, BKG, BRM, BSL,
CME, ECL, EEE, ENT, EQI, FFY, GNQ, KGC。

当日は土曜日のため大変混雑し、一箇所に集つてのミーティングは出来な

(C)QTC-Japan.com & Tokyo OLD

かつたが夫々が東京湾上の涼風を受け楽しい船上ミーティングを行い、帰途、東京タワー下に集り夜半迄歓談し散会した。

JMHC 関西地区各局上京

8月17日、JMHC 関西地区JA3AMQ他6局は4台の車で上京された。午後8時東京タワー下で関東地区の各局と落ち合い、ボーリング場で食事を共にしながらミーティングを行った。

2メーター用ターンスタイル型アンテナ

—全方向特性をもつ水平偏向モービル用アンテナ—

(訳) JA1DWI

“やあ、君の車にはテレビがあるのかい？”ターンスタイル式アンテナを見た人は、必ずこう尋ねる。このアンテナは、勿論、テレビ受信用に作られたものでなく、方向性の無い、2メーター水平偏波アンテナとして働くものである。

自動車搭載用としては、とりつけには簡単な垂直アンテナよりも、水平偏波アンテナの方が、相当有利である。視線範囲で水平偏波局と通信するとき、—そして2メーターの固定局は殆ど水平偏波であるが—この有利性が特に顕著である。水平偏波は、他の車及びその車自身の発する点火の際のノイズのピックアップを減少する助けをする。この型のノイズは、垂直偏波する傾向にあるからである。

モービルアンテナは、通信する相手局に関して絶えず変化しているので、全方向特性をもたねばならない。

ターンスタイル式アンテナとは？

ターンスタイル式アンテナとは、単に 90° の位相関係で等しい電流を流した二本の、 $\frac{1}{2}$ 波長のエレメントを直角に交叉させたものである。生じる輻射型式は、實際上円になる。第1図は、簡単な半波長二重エレメントのものと比較した、ターンスタイルの輻射型式である。車にとりつけた時は、幾分修正されるが、大体全方向的である。

二本の二重エレメントの間の $\frac{1}{4}$ 波長の部分は、第2図に示すように、 90° の位相変化を与えるために用いられる。各二重エレメントは約 70Ω のインピーダンスをもつので、 $\frac{1}{4}$ 波長部分は、

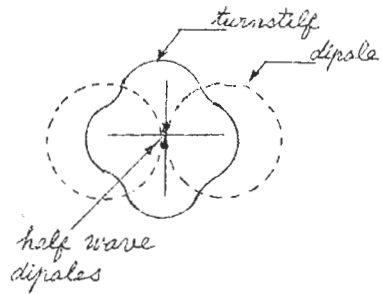


図 1

両方のエレメントにある電流が等しければ、等価の特性インピーダンスをもつことになる。従つて給電点で約 35Ω のインピーダンスとなる。

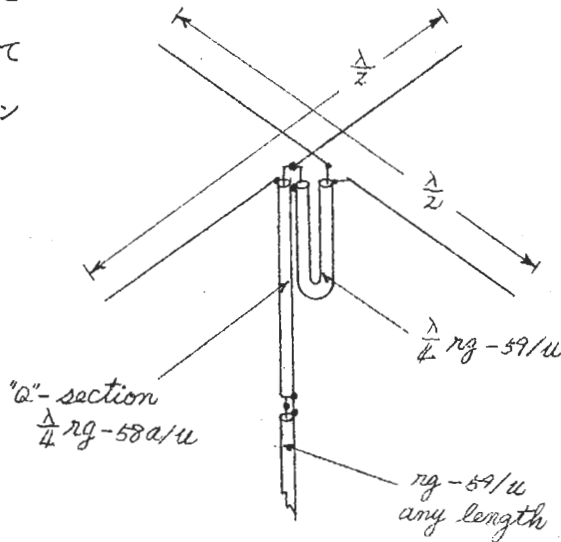


図 2

タースタイル式アンテナの給電

このアンテナインピーダンスの $35\ \Omega$ を、利用可能な型と同軸ケーブルに適合させられ得る値に変換することが望ましい。 $75\ \Omega$ 線には、この変換が、 $\frac{1}{4}$ 波長インピーダンス変換器又は“Q”マッチで容易になされうる。適合部分の要求される特性インピーダンスは、次式より計算される。

$$Z = \sqrt{Z_1 Z_0} \doteq 50.27\ \Omega$$

こゝで、 Z_1 はタースタイル式アンテナの給電インピーダンスであり、 Z_0 は同軸ケーブルの特性インピーダンスである。 Z_1 に $35\ \Omega$ 、 Z_0 (RG-59/U) に $73\ \Omega$ を代入すると、“Q”マッチの必要な特性インピーダンスは $50\ \Omega$ に非常に近い値になる。この様に、RG-58A/U 同軸ケーブルはインピーダンス変換器用に使える。任意の長さの $70\ \Omega$ ケーブルが、“Q”マッチを通してアンテナに給電する為に使える。第2図は電気接続を示す。

$\frac{1}{4}$ 波長部分の物理的長さを計算するには、次式が用いられる。

$$\text{長さ (インチ)} = \frac{2950}{f} v \%$$

こゝで f は周波数(単位Mc)、 v は同軸ケーブルの短縮率である。RG-59/UとRG-58A/Uの短縮率は0.66であるから、 $\frac{1}{4}$ 波長部分は $13\frac{1}{2}\%$ の長さである。他の周波数の時の長さは、この公式に周波数を代入して求められる。

機械的詳細

第3図は、タースタイルアンテナの機械的詳細を示す。アンテナは三つの主要部分 — 即ち、基底部、支柱、頭部より成ると考えられる。頭部は支持中

(C)QTC-Japan.com & Tokyo OLD

核とポール部を含む。

支持中核はプラスチックの棒から切りとつた短い円筒である。ポリスチロール棒なら大抵の通信販売店から手に入れられる。しかし磨滅の少ないプラスチックやベークライトならどんなものでも使用できる。中核は少くとも1/4"の直径で約1/4"の厚さが必要ではない。1/4"の支柱の上に固定する為に、中央に1/4"の穴をあける。他の五つの穴は第3図に示す通り30番ドリルであけ、6-32系用に口をあけられる。

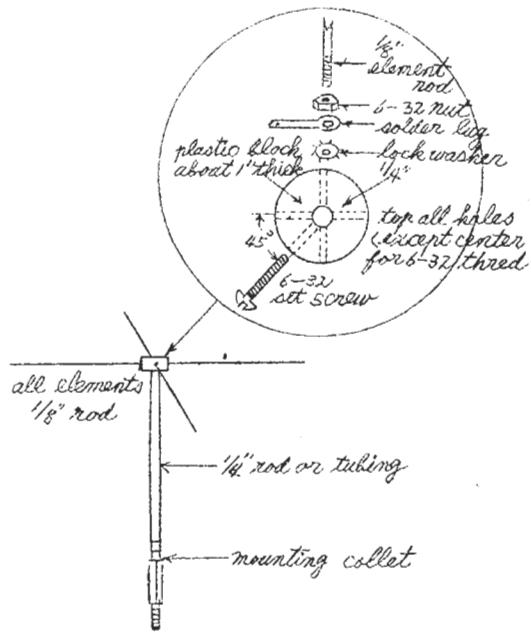


図 3

二本のエレメントは3/8"アルミ棒である。これらは通常の伸銅品材料店から少量でも得られる銲接棒でよい。当局の作ったアンテナは、2024-T4(24S-T4)アルミニウムを使っているが、それは伸銅品材料店から得たものである。この形の棒は、弾力性があり、6-32の糸をつなぐに十分な固さがある。

ターンスタイルアンテナの組立ては、第3図にあるように、ソルダーラグ(結合用突出物)、ナット、輪止め座金を用いてポールを中核に接合することが含まれる。棒は、支柱に触れる程中核に挿入してはならない。装置はマストに6-32セットねじでしつかり留められる。次に第2図に示した電気接続を行う。50Ωの“Q”マッチと70Ωの同軸ケーブルの間の接合は、小型のBNC同軸コネクタを使えば、便利に出来る。UG-260/U型コネクタが

(C)QTC-Japan.com & Tokyo OLD

同軸ケーブルの端に使われる。

標準と取り付け用コレット(小軸鉗)、Wardの89-358型が、ターンスタイル式アンテナの基底部に使われる。コレットは、一方の端では $\frac{1}{4}$ クスの穴、他方の端では $\frac{3}{8}$ S A Eの栓となる。 $\frac{3}{8}$ ク系は、自動車スプリングベース台に合う標準的なものである。コレットは、穴の中に $\frac{1}{4}$ ク棒を固定させるねじがついている。異なるサイズの穴をもつ他の型のコレットも使用できる。もし求めるサイズの穴のコレットがなければ、穴を、はさみ金をつけるか又は大きくするかして、支柱の直径に合うようにする。

直径 $\frac{1}{4}$ クスの棒又は管は、車の後屋根部にとりつければターンスタイル式アンテナを十分支えることができる。緩衝器にとりつける場合には、もつと長く、直径も大きい支柱が必要である。勿論これには、コレットやボール中核の穴がもつと大きくなければならない。同軸給電用コネクター(Ampheno1 83-1F)を車体を通じて同軸ケーブルに給電するため、基底部のそばにとりつけるか、又は同軸ケーブルを、車の下又はトランクのふたのすき間を通して送信機につなぐことができる。 $\frac{1}{4}$ 波長部を同軸ケーブルは、スコッチ電気工事用テープで支柱にとめつける。

経験から、アンテナを車の運転台側の上にとりつけるのが一番よいことが分っている。これは、低く下つた木の枝にひつかゝる率が少くする。地上 $6\frac{1}{2}$ 'の高さが推められる。この高さでは、樹木の下や、ガード下や料金所の門を無事に通れて、しかも交通巡査の帽子をたゝき落すこともない。

ターンスタイルアンテナの働き

ターンスタイル式アンテナをつけた自動車の無線通信は、垂直偏波のみに限られていた人には、愉快的な経験である。水平偏波局からの信号は、垂直偏波の場合より、フェーディングやフラッタも少いだらう。自動車無線には非常な妨

(C)QTC-Japan.com & Tokyo OLD

害になるノイズも、弱いものだけが幾らか写しとられる程度にまで減少する。ターンスタイルアンテナは、垂直偏波型アンテナより、モバイル用として全体に良好な性能を持つことが、実際の試験で示されている。

ターンスタイルは、モバイルオペレーションに限定されない。単独で、又は $\frac{1}{2}$ 波長間隔に積重ねて、全方向固定局アンテナとしても役立つ。この型をとりつけければ、非常通信用にも優れた本部局アンテナとして役立つだろう。

ターンスタイルは、卒論に前述した、 $\frac{1}{4}$ 波長線部の公式に、適当な周波数を代入することによつて、他の帯域にも構成できる。半波長二重エレメントの長さを求める標準公式は、各ターンスタイルアンテナのポールに用いなくてはならない。しかし、水平式アンテナは、そのサイズのために、低周波数でのモバイル用には、非実際的である。

アンテナの頑強性については、使用者自身で判断されたい。当局で製作したものは、二年間、モバイル用に使用されている。

7月納涼ドライブ - 那須高原へ

JA1AOR

J M H C初めての納涼ドライブを那須高原へ深夜ドライブを試みた。

千住新橋に23時集合。迷路を通過して来た車もあり結局出発は0時近くになつてしまつた。参加車13台。トップをJA1AT氏が受持ち国道四号線を那須高原に向つて驀進を開始 - 日中はダンプカーが往来する国道も深夜の為僅かな台数の定期便が往来するだけ - 足立の車検場を過ぎ草加に入り道路工事に出くわし10分程停車。

出発間もなく越谷狩場を左手に - とは申せ夜の為見えるのはヘッドライト

(C)QTC-Japan.com & Tokyo OLD

に飛び飛びの民家の灯だけ ー

闇の中を各車テールライトを輝かせながら春日部、栗橋を通過。こゝで東北本線と一緒に左側に本線の陸橋を臨む。

初めは無理せずゆつくり進行する積りで60キロ位で走行していたが先頭A T氏アクセル踏む足が疲れるとかで各車スピードアップ、白バイの居ない完全舗装の道でアクセルをいつばいに踏み込み、先を行く定期その他の車を追い越し深夜の冷気を受けながら納涼ドライブの醍醐味を満喫した。

またく間に左河小山を通過、宇都宮手前のドライブインで小休止。

休憩後、寝静まつた宇都宮市内、昨年完成した四車線線のF Bなバイパスを通り、氏家、矢板、西那須野、黒磯へ向う。途中P A 1 B Z F氏単車に運転を邪魔されながらも今回は間違わず黒磯の方へ右折出来たようです。

黒磯町を出た所でいよいよ陸羽街道と別れて那須高原へと山岳ドライブにかかる。

ゆるやかな上り道を霧に気をとられながら那須湯本温泉郷を通り一気に大丸温泉へ向かう。湯本からの山路の悪路を各車懸命に真夜中のヒルクライミングを30分程経て、目的地大丸温泉駐車場に到着。時計の針は3時40分を示している。これから夜の白む迄で車中で仮寝をとる。

夜が ажけるのを待ちA E W氏一行から離れ仙台、蔵スカイラインに向つて出発。

残りの各氏7時過ぎに眠さめ、空中ケーブルに乗り茶臼岳の中腹へ、有志がそこから頂上目ざして約1時間のアルバイト。

山頂での眺めは大変F Bで、遠くに赤城山、谷川、裏側に三本槍岳、又日光連山が連なりP R C 6か10の持合せがなく残念な位でした。

多少の心残りを抱きながら下山する。

夏より秋の紅葉の頃はもつとF Bな光景が展開していることでしょう。

(C)QTC-Japan.com & Tokyo OLD

午前 11 時頃帰路に着くことになり、大丸温泉を出発。

まもなく東京渋谷の A Z Q 氏と各車が Q S O 出来、A Z Q 氏のロケーションの F B な事と那須高原か東京方面にロケーションが開けていることが解りました。湯本温泉迄 A Z Q 氏のシグナルは入感していました。

湯本で各車、水、ガソリン等を補給し、黒磯に向つて F B な道路を走行。

途中黒磯に寄り、昼食用の釜めしを仕入、車中昼食をとる。

氏家あたりで、焼けたボディを洗うかのようなわか雨に出合いながら東京に向つて進行。途中追越しで取締につかまりそこねるとい一幕もあり、栗橋を渡り幸手のドライブインで解散。各車「又のドライブを楽しみに」家路に着く。

新 入 会 員 紹 介 (3 7 年 9 月 以 降)

下記の局が入会されました。

JA1DCO	金原 市昌	大田区 ^北 井千束町 668
BMX	久保 孝二	渋谷区南平台町 16 アジアマンション 604 号
MCQ	三ッ橋 清	神奈川県中郡二の宮町山西 1025
BSL	轟 稔	品川区大井坂下町 11
BRK	来村 太刀夫	鎌倉市材木座 977
EYG	高木 健雄	台東区御徒町 1-36
CGS	伊藤 秀夫	武蔵野市関前 2-1000
ETQ	佐藤 寿男	品川区荏原 3-122
GW	日比 五郎	足立区千住 3-31
DBZ	本橋 広道	目黒区洗足 1447
JCQ/1	田屋 恵一郎	練馬区関町 3-104

お詫び

会報の発行が昨年9月以来延び延びに遅れまして申し分けありません。

今後は出来るだけ定期的に発行して行きたいと思っておりますので会員の皆様の御協力をお願い致します。

日本モービルハムクラブ会報

第 5 号

昭和38年9月10日発行

編集人 山田豊雄 (JA1DWI)

発行人

発行所 日本モービルハムクラブ(JMHC)
東京都大田区馬込東4-12
山田油機馬込ビル内

© 本誌よりの無断転載を禁ず